

700-0985
 岡山市厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 2F
 (社) 岡山ビルメンテナンス協会 青年部会
 TEL: 086-225-8660
 Eメール: okbm1@lime.ocn.ne.jp



27号

編集・発行: 社団法人岡山ビルメンテナンス協会 青年部会 広報委員会
 平成20年10月1日発行 (通算27号)

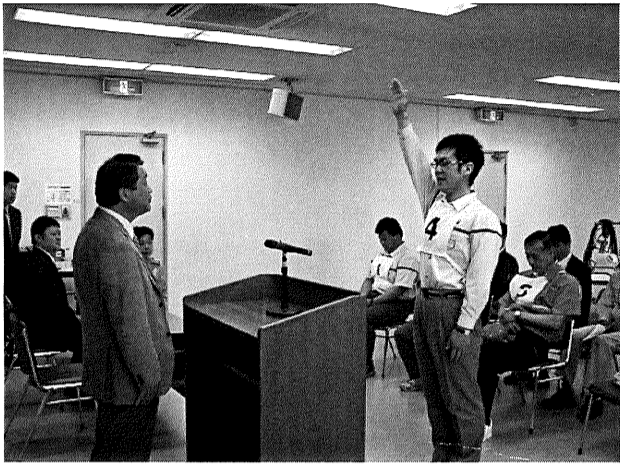
岡山青年部だより

ビルクリ中国大会 in 鳥取 岡山代表選手決定

さる5月9日、岡山商工会議所にて、ビルクリニング技能競技中国大会への出場選手を選考するため、平成20年度ビルクリニング技能競技岡山大会が開催されました。今回は競技順に

- 越智 慎一選手 (株)JR西日本 岡山メンテック
 - 定延 伸伍選手 (株)サピックス
 - 木村 義雄選手 アトラクティブ大永(株)
 - 田口 誠選手 (株)JR西日本 岡山メンテック
 - 前田 吉彦選手 日本ビル管理(株)
 - 池本 正志選手 (株)サピックス
 - 北園 英樹選手 (株)JR西日本 岡山メンテック
- 以上の7選手が出場され、田口選手の「選手宣誓」に続き、熱のこもったパフォーマンスが展開されました。

(田口選手による宣誓)



越智選手と定延選手は2度目の出場であり、最高齢は62歳の木村選手でした。前田選手の応援には前回の中国大会に岡山代表選手として出場された志津花夫人がお子さんを抱いてかけつけられました。審査委員は全国BM協会認定検定員の宮下岡山BM協会会長以下、



藤井中国地区講師、岡野事務局長、麻田中国地区講師の4委員で行われ、最終的に
 優勝 越智 慎一選手
 2位 北園 英樹選手
 3位 池本 正志選手
 という結果になりました。

(写真右上 床洗浄中の木村選手)
 (写真左上 除塵作業中の定延選手)
 (写真右下 右から、2位の北園選手、優勝の越智選手、3位の池本選手)
 (左下 成績発表前の風景)



上記3選手は岡山県代表として、10月9日鳥取で開催される「第10回ビルクリニング技能競技中国大会 in 鳥取」に出場されます。大きなお土産をぜひ岡山へ持ち帰っていただきたいと思えます。また、惜しくも入賞を逃された選手の皆さんも普段それぞれの職場において素晴らしい技能を発揮し、会社から、顧客から信頼を勝ち得ていることはパフォーマンスを見て容易に想像できるほど高度なものでした。

閉会式の中で岡山青年部高戸部会長の言葉の中に、惜しくも入賞を逃した選手へのエールがありました。「苦い経験をよい経験にできる方たちだと信じています。」(ホームページより抜粋)

定期総会の概要 今年度の活動体制について

平成20年5月16日、午後5時30分からホテルグランヴィア岡山において、社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部定期総会が開催されました。(会員数25社中18社の出席)議題は、
 ①平成19年度事業報告並びに決算書承認の件
 ②任期満了に伴う役員改選の件
 ③平成20年度事業計画並びに収支予算案承認の件
 ④その他
 でしたが、全ての議題が満場一致で承認されました。役員は全て留任となっていますが、財厚生会さんと(株)不二ビルサービスさんの青年部退会により、委員会構成は一部変更となっていますのでご確認ください。下欄、表の体制で活動していきますのでご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

広報委員会		企画研修委員会		総務委員会		役員名簿	
委員長	(株)サンヨービルマネージメント	(株) 日 建	(株) 研 美 社	部 会 長	高 戸 賢 一	副 部 会 長	小 川 亮 人
副委員長	(財)岡 山 県 愛 染 会	(有)西大寺環境施設管理センター	ア サ ヒ 化 工 (株)	副 部 会 長	宮 下 桂 一	幹 事	上 村 大 作
委員	太平ビルサービス(株)	西日本建物管理(株)	津山ビル管理(有)	幹 事	都 井 宏	幹 事	山 内 秀 明
委員	美作内外美装(株)	(株)西日本テムシー	日 本 ビ ル 管 理 (株)	幹 事	永 谷 宏	幹 事	後 安 俊 伸
委員	アトラクティブ大永(株)	(株)ア ラ キ	(株)明和ビルサービス	監 査	麻 田 浩		
委員	(株)瀬戸内ビルサービス	(株)第 一 美 装	(株)シ フ ト				
委員	(株)サントップ	(株)山陽セフティ	三 要 電 熱 工 業 (株)				
委員	ビューテック中国(株)	倉敷警備保障(株)	サ ピ ッ ク ス (株)				

西日本サミットに
行ってきました

7月1日、香川青年部の主催により、リガーホテルゼネスト高松において、九州・四国・中国各地区の青年部会トップ役員を招聘しての西日本サミットが開催された。

大会に先駆けてもたれた部会長会議では、西日本サミットの今後のあり方について検討され、これをビジネスネットワーク構築の場としていくことで確認された。

この決定を受け、収穫をいかに共有化するかの体制づくりが岡山青年部内部での課題となったといえよう。

また同会議では来年度の大会を山形県が主催となることも決定した。

開会式に引き続きの基調講演、講師はマーケティング参謀室代表山口雅人氏。

一部を要約で紹介する。

「売れる会社」となるためには「売れる仕組み」の確立が重要。

何を、誰に、どのように売るかを明確にしよう。

「何を」売るか？ 客は「サービスそのモノ」でなく「サービスによってもたらされるコト」が欲しい。モノを売るのではなくコトを売るのが認識する。

(例) 客は「清掃」という「モノ」が欲しいのではなく「清掃」によってもたらされる「快適なコト」が欲しい。「誰」に売るか、たいせつなのは「既存客」。

生涯顧客価値を数値化することで既存客にランクづけするとランキング上位2割の顧客によって売り上げの多くが(8割)しめられていることに気づくはず。

既存客を逃がさないためには品質・対品質・納期に加えコミュニケーションが重要。

顧客の心には訪問が一番届く。上司(特に社長)を時々連れて行くのは効果が高い。

経営者層の集まる場所に参加するのは効果的。

新しく会った人にはその直後に、その人にあてたお礼の葉書を書いて送ることは効果的である。

次のアポイントメントをとることが重要であり、工夫を惜しまぬこと。時間は上手に使い、その準備や手配がたいせつ。

訪問時、情報入手(聴く)の時間は多くとる。話すことよりも聴くことが重要。

①顧客の問題を求めてくれるものを掘り起こし提案の契機とするため

②相手より情報が多い方が有利になるため

③客は聴かされるよりも聴いて欲しいものだから。

④いつでもメモをとれる等々。

①時・場所・状態をよく考えている

②相手を理解しようと努めている

③前もって会話の準備をしている

④もつとも大切なことが何か知っている等々。

といったところである。

閉会式に引き続き行われた懇親会は交流の場となり、全国大会の開催を控える静岡青年部、ビルクリ中国大会の開催を控える鳥取協会からのPRもあったことを報告しておく。

中国地区青年部会連絡会の
準備会議・講演会に出席

2月8日中国地区青年部会連絡会の準備会議及び講演会に参加するため広島にお邪魔しました。

講演会では子育て世代の女性の就労整備を推進する地場大手の漬物製造販売企業である「山豊」のお話でし

た。



講演会終了後、青年部会の連絡会が開催されました。

かねてより交流があった広島・山口・岡山に昨年、発足した鳥取・島根が加わることで中国地区内の連携をさらに充実したものにするためのものです。

定期的な研修や定着化を目指している「西日本サミット」(昨年より開催、中国・四国・九州で持ち回りの予定)の開催地候補、そして全国的に某県青年部会に期待が集まっている全国大会の協力体制の検討等様々な企画が練られています。とりあえずは各県に持ち帰り部会内で協議することとされました。

中国地区青年部会が県の枠を超え様々な情報交換を行うことで業界全体の底上げに少しでも寄与できれば本望です。

(小川)

社内で初めて産休・育休を取り復帰した女性社員と会社側の就労責任者がどのような取り組みを行ったかを具体的に話いただきました。

当時は妊娠すると退職するのが当たり前であるとの暗黙の了解が少なからず存在し、さらに、法令で保護されていないことも多いですが、社内全体が理解を深めることによって積極的に働きやすい環境を作っていくたそうです。

私も知らないことが多かったのですが、自治体の行政支援も整備されており中国各県の支援体制が説明され、またこうした活動を我々の業界で反映させていくためにパネルディスカッションが開催されました。

(吉田さんにご寄稿いただきましたのでご紹介します)

以前出場した全国大会から15年が経ち、(第3回出場)全国大会が第10回目を迎えるということで、昨年11月27日幕張メッセで開催グラウンドチャンピオン大会に出場しました。

もうこういった大きな舞台に立つて競技することは無いと思っていましたが、記念大会ということで出場機会をいただきました。結果的に入賞にできませんでしたが良い経験が出来たと思います。

事務局の岡野事務局長、高橋さんをはじめ、いろいろな方にご指導・ご協力いただきました。ありがとうございました。

吉田 和敏

講演会終了後、青年部会の連絡会が開催されました。

かねてより交流があった広島・山口・岡山に昨年、発足した鳥取・島根が加わることで中国地区内の連携をさらに充実したものにするためのものです。

定期的な研修や定着化を目指している「西日本サミット」(昨年より開催、中国・四国・九州で持ち回りの予定)の開催地候補、そして全国的に某県青年部会に期待が集まっている全国大会の協力体制の検討等様々な企画が練られています。とりあえずは各県に持ち帰り部会内で協議することとされました。

中国地区青年部会が県の枠を超え様々な情報交換を行うことで業界全体の底上げに少しでも寄与できれば本望です。

(小川)

社内で初めて産休・育休を取り復帰した女性社員と会社側の就労責任者がどのような取り組みを行ったかを具体的に話いただきました。

当時は妊娠すると退職するのが当たり前であるとの暗黙の了解が少なからず存在し、さらに、法令で保護されていないことも多いですが、社内全体が理解を深めることによって積極的に働きやすい環境を作っていくたそうです。

私も知らないことが多かったのですが、自治体の行政支援も整備されており中国各県の支援体制が説明され、またこうした活動を我々の業界で反映させていくためにパネルディスカッションが開催されました。

(吉田さんにご寄稿いただきましたのでご紹介します)

以前出場した全国大会から15年が経ち、(第3回出場)全国大会が第10回目を迎えるということで、昨年11月27日幕張メッセで開催グラウンドチャンピオン大会に出場しました。

もうこういった大きな舞台に立つて競技することは無いと思っていましたが、記念大会ということで出場機会をいただきました。結果的に入賞にできませんでしたが良い経験が出来たと思います。

事務局の岡野事務局長、高橋さんをはじめ、いろいろな方にご指導・ご協力いただきました。ありがとうございました。

吉田 和敏

ビルメンヒューマンフェア

「キレイの先に何がある?」私たちは、人にも地球にも『優しい環境』を創り出します。のテーマのもと、昨年十一月二七〜二九日の間幕張メッセにてビルメンヒューマンフェアが開催された。

今回は、全国協会設立四十周年記念事業及び公益法人制度改革への対応として、通常より長い三日間の日程のもと、広く一般参加者へアピールする内容での開催となった。

技能競技会は、岡山・吉田選手(日本ビル管理株)の出場されたチャンピオン大会 山口・藤原選手の出場された全国大会共に入賞は叶わず中国地区は残念な結果に終わった。次回京都大会を目指しての奮起をお願いしたい。

(岡野)

従来はビルクリーニング技能競技大会・過去全国上位入賞者によるチャンピオン大会・ビルメンイメージングの発表・一般参加による子供絵画コンクール・おそうじ達人コンテスト・キッズニアパレード・等従来の業界内フェアから、一歩踏み出し、ビルメン業を広くアピールする事に力が移りつつあるように印象を受けた。

第12回青年部全国大会
に参加しました

平成19年9月13日、秋田県秋田市において、ビルメンテナンズ青年部全国大会が開催された。

12回目にして初となる東北地区での全国大会。会場の秋田ビューホテルには19団体212名が参加。

「Hand In Hand」の大会テーマ、「美の国あきたから全国への架け橋へ」の大会スローガンのもと、豊穡なる交流の場となった。



(写真・オープニングセレモニー)

岡山青年部からは役員のうち、当日本スケージュール調整がついた5名、高戸会長、宮下・小川両副会長、永谷研修委員長、監査麻田が参加させていただきました。

秋田です秋田。なかなか行くことのない県であり今回全国大会を開催してくれたおかげで、「わかさぎ国体」を控えて県全体が活気づいているこの時期にご縁をいただけたことに感謝です。

秋田県。総人口約112万人。

県の花・ふきのとう。

県の鳥・やまどり。

県の魚・ハタハタ。

米どころであり、酒どころであり、竿燈祭りなど祭りもエネルギー。全国の民族行事である「なまはげ」、そして日本3大美人として誉れの高い秋田美人の地。

大会メニューには、その秋田の文化に触れる機会が随所にちりばめられていました。伝統を守りながら高めていこうとする意識の力強さに強い感銘をうけました。

また懇親会においては、「きりたんぼ」「稲庭うどん」などの郷土料理、そしてなんと清酒の美味なること美味なること、すっかり秋田の味のファンになってしまいました。

なお大会に先がけて行われた部会長会議において、再来年度の全国大会が栃木において開催されることが正式決定いたしました。

秋田青年部のみなさま お心の行き届いた素晴らしい大会でした。お招きをいただきありがとうございます。

(HPより抜粋)

今後の主な予定

10月8・9日

ビルクリ応援ツアー

10月9日

ビルクリーニング技能

10月22日

競技中国大会/米子

青年部全国大会/静岡